

## ○ ロジスティードと SOMPO 物流業界 2024 年問題の解決に向け提携 損保ジャパン（23/6/7 ニュースリリース）

- ・ ロジスティード株式会社、損保ジャパンおよび SOMPO リスクマネジメントは、ロジスティードグループが展開するデジタルプラットフォーム「SSCV®」を活用して、物流業界の 2024 年問題に対応するために提携を開始した。
- ・ 物流業界の 2024 年問題とは、働き方改革関連法の適用が猶予されていたトラックドライバーの時間外労働の管理が 2024 年 4 月から厳格になることで、輸送力の減少による物流の混乱やコストの大幅な上昇など、諸問題の発生が危惧されている。この問題に対応するためには、デジタルを活用した業務効率化や、トラックドライバーが健康で安全に業務できる労働管理体制の構築、さらには発生すると大きなコストと時間がかかる交通事故の防止といったさまざまな対策を、2024 年 4 月までに実施することが必要不可欠となっている。
- ・ 一方で、日本の輸送業界は従業員 50 名以下の中・小規模な事業者が約 90%を占めており、短期間にこれらの対策に取り組むには限界がある。SSCV は、こうした物流現場の課題やニーズに対応するために、ロジスティードが自社で開発し、自らの事業で利用しながら機能改善・向上を図ってきたソリューション。小規模な輸送事業者でも SSCV の導入により、短期間で必要な対策を実施することが可能になる。
- ・ SSCV は、3 つのソリューションで輸送事業者をサポートするデジタルプラットフォーム。概要は以下の通り。
  - ①SSCV-Smart：受発注・配車・運行・会計・労務・調達といった煩雑な事務処理やコンプライアンス強化への取り組みなど、輸送事業者が抱える業務課題をテクノロジーの力で解決し、スマートな働き方や経営を支援するための輸送業務支援ソリューション
  - ②SSCV-Safety：ドライバーの運行前後および運行中の生体データと、ドライブレコーダや車両の挙動などから取得した運転データを AI で分析し、独自に開発した事故リスク予測アルゴリズムとテクノロジーを組み合わせ、ドライバー自身が気付くことのできない「疲労」や「ストレス」を可視化することで、漫然運転に起因する事故を未然に防ぐ安全運行管理ソリューション
  - ③SSCV-Vehicle：車の調達から買取りまでを支援する車両の一元管理と、IoT 技術・ビッグデータを活用した予防診断を合わせた、車のライフサイクルをサポートする車両管理支援サービス。計画的な予防整備により、車両故障に起因する事故や、修理費用およびロスコストを低減する。

## ○ 子育て環境改善に資する保険商品・サービスの開発・提供に向け、あいおいニッセイ同和とカラダノートが 業務提携契約を締結（23/6/7 ニュースリリース）

- ・ あいおいニッセイ同和と株式会社カラダノートは、子育て環境の改善や少子化問題の解決に資する保険商品・サービスの開発・提供に向けて、6 月 8 日に業務提携契約を締結した。
- ・ 総務省統計局の「令和 3 年社会生活基本調査」によると、6 歳未満の子どもがいる世帯の父親が 1 週間で家事・育児にかかる時間は、母親よりも約 5 時間 30 分短い 1 時間 54 分に留まっている。また、カラダノートの調査によると、共働き夫婦の家事・育児の分担率は、約半数の世帯で母親が 8 割以上を担っているなど、「ワンオペ育児」は少子化の要因の一つとされている。今般、両社は互いが持つ商品・サービスやビッグデータを掛け合わせ、「ワ

ンオペ育児」をはじめとする子育て環境の改善を通じて少子化問題の解消に貢献していくため、業務提携契約を締結することとした。取り組みの概要は以下の通り。

- ①あいおいニッセイ同和がテレマティクス自動車保険を通じて取得している「安全運転スコア」と、カラダノートが保有する夫婦間育児共有機能の利用率を突合し、交通事故発生リスクと育児シェア率の相関性を検証する。相関性が認められた場合、両社が展開する各種サービス等にて分析結果を公表し、育児シェアの重要性を訴求するとともに、育児シェア率向上に資する保険商品・サービスの開発を検討していく。
- ②カラダノートのアプリユーザーへのアンケートを通じて、育児シェアを阻害している要因・課題を調査し、調査により判明した「育児シェアを阻害する要因・課題」の解消に資する保険商品やサービスの開発を検討する。例えば、子どもが急病の際には母親が仕事を休むことが常態化しているといった課題に対して、父親が育児・看病のために欠勤した場合に保険金を支払う保険を新設する等。
- ③カラダノートの各種アプリ上に、あいおいニッセイ同和の保険商品へ加入できる導線を構築する。また、あいおいニッセイ同和が包括連携協定を締結している地方公共団体とカラダノートが連携し、少子化解消に資する取り組みを後押しする。
- ④AR やメタバース、ゲーム感覚等を取り入れた「子どもが楽しく学べる交通安全促進ツール」の開発を検討する。

## ○ EV 整備ネットワークの構築に向けフォロフライと提携 三井住友海上（23/6/8 ニュースリリース）

- ・ 三井住友海上は、電気自動車（EV）ベンチャーのフォロフライ株式会社とバッテリー式 EV の整備ネットワーク構築に向けた提携を7月に開始する。本提携では、フォロフライが販売した EV の車検やメンテナンス等のアフターサポートを、提携工場の認定を受けた「アドバンスクラブ（当社が支援する自動車整備業の保険代理店組織で会員数は2023年3月末で2,186店）」会員が対応する。全国に EV の整備網を拡大することで、国内の EV 普及を後押しし、温室効果ガスの削減に貢献する。
- ・ 脱炭素社会の実現に向けた取組が加速する中、特に温室効果ガスの削減に寄与する EV の普及は重要なテーマとなる。また、日本の車両登録台数における EV の比率は約 1%に留まり、ガソリン車に比べ整備工場での整備実績が少なく、ノウハウの積み上げが課題とされている。
- ・ 今回の提携を通じて、アドバンスクラブ会員が EV 整備に関するノウハウを蓄積することで、EV ユーザーが安心して EV を利用できる環境の実現に貢献する。
- ・ 当社が窓口となり、フォロフライとアドバンスクラブ会員が整備提携を締結する。フォロフライは EV の販売や認定工場制度を運営し、アフターサポートをアドバンスクラブ会員が担う。当社グループ会社のエーシー企画が、研修、教育、説明会等の実務面を支援する。

## ○ ENECHANGE 社と連携した保険付き EV 充電器設置紹介事業の開始 東京海上日動（23/6/9 ニュースリリース）

- ・ 東京海上日動は、ENECHANGE 株式会社（以下「エネチェンジ」）と EV 充電インフラの拡充に向けた業務提携契約を締結し、保険付き EV 充電器の設置紹介事業（以下「本事業」）を2023年6月より開始する。
- ・ 各自動車メーカーでカーボンニュートラルを目指した EV 開発・展開が急速に進んでいる。また日本政府は、脱炭素社会の実現に向け2035年までに乗用車新車販売における EV の比率を100%とする目標を掲げており、それにあわせて公共用の急速充電器3万基を含む充電インフラの数を2030年までに15万基設置まで伸ばし、ガソリン車並みの利便性実現を目指すとしている。一方、全国の EV 充電スポット数の推移状況を見ると、累積では

2022年3月末時点で約3万台まで伸びているが、新設台数は2017年以降停滞傾向にある。また、既設の普通充電器の出力は3.2kWのものが大半だが、市場では6kW対応のEVが増加していることから、充電器の設置状況は市場のニーズに十分対応できているとはいえ、今後のEV普及およびEV利便性向上のために、高出力のEV充電器の設置増加は重要な課題となっている。

- ・ 当社はそうした課題の解決に貢献すべく、6kW充電器において導入台数 No.1 のエネチェンジと、EV充電器設置を希望する事業者をマッチングする事業を開始する。本事業では、当社の全国の営業網を全面的に活用しながら、EV充電器を設置する事業者とエネチェンジを繋げていく。また、エネチェンジのEV充電器全てに物的損害を補償する保険を付帯することで、安全かつ安心して導入できる環境整備を進め、EVインフラの普及を支援する。
- ・ まずは当社社員による当社保険契約のお客様や保険代理店を対象として紹介を行う。その後、将来的には全国約46000店の内で希望する保険代理店に本事業を再委託する形で取引先企業への更なる展開を進めていく。
- ・ 当社は、マッチング事業を新たな収益機会とする他、EV充電器に関連する各種損害保険や付帯サービスの検討・開発・提供等で損害保険本業の収益の向上につなげていく。このような保険付きEV充電器設置のマッチングを事業とし、収益機会として取り組むのは業界で初めてとなる。
- ・ EV充電器の保険では、自然災害によるEV充電器の損害に加え、設置場所でのいたずらや車両衝突等による破損等を補償する。

#### ○ 「人生100年ラウンジ」のスマートフォン向けアプリを開発 三井住友海上（23/6/9 ニュースリリース）

- ・ 三井住友海上は、人生100年時代におけるお金の不安を解消し、豊かな人生を送るためのサービス「人生100年ラウンジ」のスマートフォン向けアプリを開発し、6月から提供を開始する。
- ・ 「人生100年ラウンジ」は、当社とSCSK株式会社が開発した、現役時代から老後まで、その時々状況に合わせた資産形成をワンストップで支援する企業の従業員向けのWebサービス。これまでWebサイトのみでサービス提供していたが、ユーザーの利便性向上を図るため、スマートフォン向けアプリを開発した。
- ・ 本アプリは、「人生100年ラウンジ」が勤務先で導入され、本サービスのアカウントIDおよびパスワードを保有する方向けのアプリ。アプリをインストールすることで、より手軽に「人生100年ラウンジ」を利用できる。スマートフォンの生体認証機能と連携するため、2回目以降のログイン時のID・パスワード入力が不要。福利厚生制度や資産形成に関する情報など、お役立ち情報をお届けする。

以上